なんでもインフォ 2016. 9

発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23
E-mail　suzuki@showacd.co.jp
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

～ 台風について～

はじめに

8 月 30 日、台風 10 号が岩手県に上陸しました。

台風の影響で死者 20 人（9/12 現在）を伴う甚大な被害を受け、今なお 3 人の方の行方が分かっていない状況です。避難所では、多数の方々が生活の再建の見通しが立たず、辛い日々を過ごしています。

今回のインフォでは、台風の基本知識と今回の台風 10 号で起こったことを振り返り、今後の防災のため、少しでも役に立てばと思いまとめてみました。

なお台風の知識については、気象庁のホームページを始め、様々な情報を参考にさせて頂きました。ありがとうございました。

台風とは？

海面水温が高い熱帯の海上では、上昇気流が発生しやすく、この気流によって次々に積乱雲（入道雲）が発生します。この積乱雲がまとまった渦を形成していき、渦の中心付近は気圧が下がり、「熱帯低気圧」となります。

「熱帯低気圧」のうち、赤道より北の方向で、ハワイから少し西の東経 180 度より西側で発達したもの、そして中心付近の最大風速が 17m/s 以上のものを「台風」と呼びます。ちなみに、台風と同じ性質でも発生位置、発達位置の違いによって、サイクロンまたはハリケーンと呼名が変わります。

台風の勢力（大きさと強さ）

台風の勢力は、「大きさ」と「強さ」で表現します。「大きさ」は強風域（風速 15m/s 以上）の半径で、「強さ」は最大風速で示します。

台風の大きさ階級	
階級	風速 15m/s 以上の半径
大型(大きい)	500km 以上～800km 未満
超大型(非常に大きい)	800km 未満

台風の強さの階級	
階級	最大風速
強い	33m/s 以上～44m/s 未満
非常に強い	44m/s 以上～54m/s 未満
猛烈な	54m/s 以上

台風 10 号の勢力は、18 時 45 分大船渡市に上陸した時点で、最大風速 30m/s、風速 15m/s 以上のエリア半径は 600km でした。この時点での台風 10 号は、強さの程度の呼び方は除かれ「大型の台風」と呼ばれることになります。

参考までに、風速 15m/s とは「風に向かって歩けなくなる状態」で、30m/s は「何かにつかまっていないと立っていられない状態よりも酷く、屋外での行動は極めて危険な状態」と言われています。

経路

台風は北上する性質がありますが、その力が弱く横風に影響されます。東風が吹いている低緯度では西に流されながら北上しますが、中高緯度になるにつれて偏西風の影響を受けて東に流されながら北上します。ただし、8 月は日本付近の上空の風が最も弱くなるため、複雑な経路をたどることが多いという傾向があります。

台風 10 号は、まさに複雑な経路をたどりました。

風の特性

台風は巨大な空気の渦巻きになっており、地上付近では上から見て反時計回り強い風が吹き込んでいます。そのため進行方向に向かって右のエリアは台風を動かす風が加わり、左エリアに比べて強い風が吹くことになります。

台風 10 号が岩手県に上陸した時点では、台風の右側である沿岸北部（久慈岩泉周辺）が内陸部（盛岡周辺）よりも強い風が吹いていたと予想されます。

雨の特性

台風は、強い風とともに大雨を降らせます。

台風の眼の周りを壁のように積乱雲が取り巻いており、そこでは猛烈な暴風雨となります。その眼の壁のすぐ外は濃密な積乱雲が位置し、激しい雨が連続的に降っています。さらにその外側 200km から 600km の所には帯状の降雨帯が位置し、断続的に激しい雨が降ったり、時には竜巻が発生することもあります。

もう一つ、台風の雨には独特の特性あります。台風の進行方向の右側に、南より暖かく湿った風が吹きます。その強風が斜面にあたり、強制的に空気が上昇し、その効果が加わり雨雲が大きく発達します。

台風 10 号では、この現象が起こったものではないかと推測されます。



おわりに

近年、集中豪雨など異常気象が頻発し台風が大型化し、その数も多く発生しています。災害を防止・軽減するためには正しい知識を身に付けることが大切だと言われており、このインフォが基本的な台風についての知識として役立つことを願います。

作成者：コンサルタント事業部
鈴木　浩行

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は，道路・河川・橋梁等の計画・設計，GIS，IT ソリューション等の業務を行っております．

”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください．